



第10回 東京2025デフリンピック開閉会式検討部会



東京2025デフリンピック開閉会式検討部会 《開催状況》



区分	開催日	議題	
第1回	2024年11月7日	<ul style="list-style-type: none">● 開閉会式検討部会設置要綱について● 部会長等の選任について● 専門委員の選任について	<ul style="list-style-type: none">● 演出委員会の設置について● 演出委員会メンバーの選任について
第2回	2024年12月12日	<ul style="list-style-type: none">● 演出委員会のリーダーについて● 今後のスケジュールについて	
第3回	2024年12月25日	<ul style="list-style-type: none">● 演出委員会報告について● 演出家が関わる範囲と条件について	<ul style="list-style-type: none">● 仕様書・評価基準（案）について● スケジュール（案）について
第4回	2025年3月28日	<ul style="list-style-type: none">● 演出委員会開催状況について● 演出テーマ・コンセプトについて● 開会式および閉会式の位置づけと式典前プログラム	<ul style="list-style-type: none">● 開閉会式における各プログラムの検討の方向性● 今後のスケジュールについて● 2025年執行体制について
第5回	2025年5月1日	<ul style="list-style-type: none">● オーディションについて	
第6回	2025年6月30日（書面）	<ul style="list-style-type: none">● オーディション結果報告について	
第7回	2025年9月16日（書面）	<ul style="list-style-type: none">● 演出委員会委員の変更について	
第8回	2025年10月6日（書面）	<ul style="list-style-type: none">● 演出における光（照明）の効果的活用について	
第9回	2025年11月4日	<ul style="list-style-type: none">● 開閉会式のプログラム構成案について● 各プログラムの内容について	



設置期間の延長について

本部会は、「東京2025デフリンピック開閉会式検討部会設置要綱」第12条（設置期間）により、令和8年1月30日までを設置期間としていますが、同条但し書きにより、必要に応じて設置期間の延長が可能となっております。

上記の規定に基づき、本日の検討部会は、令和8年2月27日まで設置期間を延長して、開催するものといたします。

* 参考

(設置期間)

第12条 本部会及び演出委員会の設置期間は、本部会が設置された日から令和8年1月30日までとする。ただし、必要に応じて設置期間を延長することができる。



議題 2



開閉会式の実施報告について



開閉会式の実施報告について

～東京2025デフリンピック開催レポート～ ①



演出テーマ・コンセプト

2025年11月15日（土）に幕を開け、11月26日（水）に幕を閉じた東京2025デフリンピック。

開会式・閉会式は東京体育館（東京都渋谷区）にて開催されました。

きこえない・きこえにくい、きこえるに関わらず、「コミュニケーションを楽しもう」をベースコンセプトに、「ろう者の文化の共有」「東京の魅力発信」「共生社会の実現」をテーマに実施

子どもや障害のある方など、多様な人々が参画・出演することにより、誰もが活躍できる共生社会を目指した大会を象徴する式典となりました。

また、開会式は、サッカー競技会場であるJヴィレッジ（福島県檜葉町・広野町）のサテライト会場でも同時中継されました。



演出家



きこえない人

大橋 弘枝

・俳優、演出家、プロデューサー



きこえる人

近藤 良平

・彩の国さいたま芸術劇場 芸術監督
・ダンスカンパニー コンドルズ 主宰



開閉会式の実施報告について

～東京2025デフリンピック開催レポート～ ②

参加者数

開会式・閉会式における各会場での参加者数（選手団・一般観覧者・その他関係者）は以下の通りです。

■開会式

東京体育館：約6,100名

福島サテライト会場：約600名

■閉会式

東京体育館：約6,000名

司会者



■開会式・閉会式

国際手話 川俣 郁美

- ・東京2025デフリンピック応援アンバサダー
- ・日本財団 職員
- ・栃木県聴覚障害者協会 理事

日本手話言語 清水 愛香

- ・全日本ろうあ連盟青年部 部長



開閉会式の実施報告について

～東京2025デフリンピック開催レポート～ ③



開会式レポート

式典前プログラム

式典前にはヘブンアーティストによるパフォーマンスが行われ、続々と会場に集まる各国の選手、観客のみなさんを盛り上げました。

出演者

しおじゅり（一輪車サーカス）、
Cartoon Clown CHEEKY!（一輪車サーカス）、
KANA（フラフープ）、SUKE3 & SYU（アクロバット）、
けん玉師・伊藤佑介（けん玉）



東京体育馆

「ヘブンアーティスト」は、東京都が実施する審査に合格し、都立公園や民間施設などの活動場所でパフォーマンスを行うライセンスを交付されたアーティストです。

●オープニング

過去を称え、未来へ希望を繋ぐ、共生社会へのメッセージをのせ開催を告げる



アリーナに駆け込む一人の少女。

会場内の選手団、観客に対して、足を踏み鳴らしたり、電気をつけたり消したりして呼びかけるというパフォーマンスから、「デ夫リンピックはじまるよ！」の手話に続いてオープニング映像が流れます。

100周年の記念すべき大会であることを祝福し、これから始まる12日間の大会への期待感を会場全体で共有しました。



オープニング映像を手掛けたのはきこえない映画監督、今井ミカ。

きこえない人、きこえにくい人を中心としてキャスティングを行い、アスリートとして、東京2025デ夫リンピックに出場するデアスリートが出演しました。

出演者

少女 | 池田 希愛

開閉会式の実施報告について

～東京2025デフリンピック開催レポート～ ④



●選手団入場

希望と笑顔に満ちた各国選手団！

子どもたちの笑顔と共に会場に入場

第1回の開催国であるフランスを先頭に、最後は開催国である日本の選手団が入場しました。

帽子や小旗などを手に、選手団が入場。日本選手団の入場時は、各国選手団が立ち上がって拍手を送りました。

また、阿波踊りや、プラカーダーなど、きこえない人、きこえにくい人、きこえる人が一体となって入場行進を盛り上げました。



出演者

サポーター |

だいこん連（阿波踊り）

プラカーダー |

東京都立中央ろう学校 生徒 ・ 渋谷区立原宿外苑中学校 生徒

東京2025デフリンピックボランティア





開閉会式の実施報告について

～東京2025デフリンピック開催レポート～ ⑤



●挨拶、開会宣言／デフリンピック旗掲揚

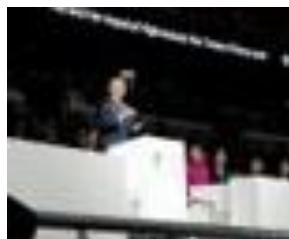


記念すべき100周年の幕開け！

開会宣言に拍手が贈られる

来賓や全日本ろうあ連盟理事長、東京都知事による挨拶と、国際ろう者スポーツ委員会（ICSD）のアダム・コーサ会長によって開会宣言が行われ、記念すべき100周年の大会が幕を開けました。

ろう学校と消防少年団の児童・生徒によって運ばれたデフリンピック旗は、自衛隊の手に渡され、ICSD楽曲が流れる中、東京体育館に掲揚されました。



登壇者

挨拶

全日本ろうあ連盟理事長 石橋 大吾
東京都知事 小池 百合子
内閣総理大臣 高市 早苗
秋篠宮皇嗣殿下

開会宣言

国際ろう者スポーツ委員会会長 アダム・コーサ



出演者

デフリンピック旗掲揚

フラッグベアラー | 明晴学園 児童 · 渋谷消防少年団
フラッグホイスター（掲揚） | 自衛隊



開閉会式の実施報告について

～東京2025デフリンピック開催レポート～ ⑥



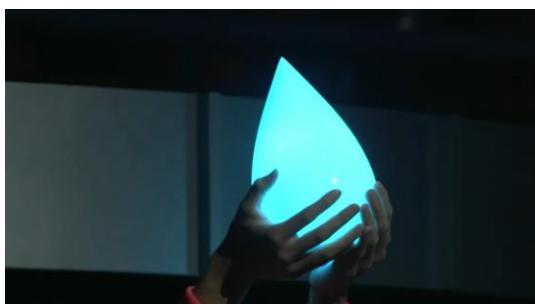
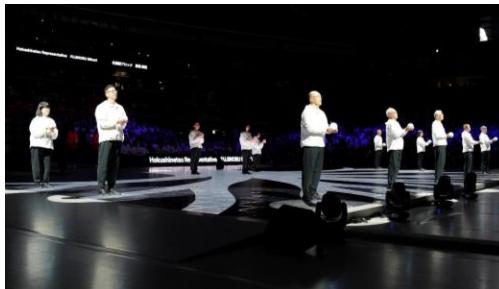
●光のリレー～想いを光に託して～

一人ひとりの想いを繋ぎ、幻想的な光の演出で会場を染め上げる

今回のデフリンピックに合わせ、全国各地にて気運を盛り上げるための取り組みが行われてきました。

取り組みを通じて集められたデフリンピックや選手への想いをリレー形式でつなぎ、東京体育館の炬火台に光を灯しました。

スタートランナーは国内各地域でのデフスポーツ振興に貢献してきた方々。中間ランナー、最終ランナーはパラリンピアンやデファスリートが務めました。





開閉会式の実施報告について

～東京2025デフリンピック開催レポート～ ⑦



炬火ランナー

スタートランナー | 全日本ろうあ連盟ブロック代表者 9名

高畠 美優治

・デフリンピック 元日本代表（アルペンスキー）、世界ろう者冬季体育大会に8度出場

浅利 義弘

・デフリンピック 元日本代表（バレー）ボール）、1985年夏季ロサンゼルス大会 銀メダル

幾島 政幸

・デフリンピック 元日本代表（卓球）、1973年夏季マルメ大会から6大会連続出場 通算金メダル18個、銀メダル3個

藤信 美紀

・元デファスリート（陸上）

小島 克仁

・元デファスリート（バレー）ボール）／岐阜県聴覚障害者協会副会長 兼 スポーツ委員長

清田 廣

・大阪聴力障害者協会 近畿ろうあ連盟役員を歴任／大阪デフスポーツ・センター委員会 相談役

戸羽 伸一

・デフリンピック 元日本代表（バレー）ボール）、1985年夏季ロサンゼルス大会 銀メダル

竹島 春美

・デフリンピック 元日本代表（卓球）、1981年夏季ケルン大会から3度出場 3大会とも個人戦金メダル

島尻 寛俊

・デフリンピック 元日本代表（陸上、バレー）ボール）、1973年夏季マルメ大会（陸上） 三段跳び4位入賞、1977年、

1981年、1985年（バレー）ボール） 1985年夏季ロサンゼルス大会銀メダル

中間ランナー |

鈴木 リヲ子

・デフリンピック 元日本代表（卓球）

1965年夏季ワシントン大会 銀メダル 日本選手初のメダルアスリート

伏見 景子

・デフリンピック 元日本代表（アルペンスキー）

1999年冬季ダボス大会 銀メダル 日本冬季選手初のメダルアスリート

谷 真海

・パラリンピック 元日本代表（陸上・トライアスロン）

パラリンピック4大会出場。東京2020パラリンピック日本代表選手団旗手

最終ランナー |

茨 隆太郎

・デフリンピック 日本代表（水泳）

2009年から2025年東京大会までの5大会連続出場。

通算金メダル8個、銀メダル11個、銅メダル4個

亀澤 理穂

・デフリンピック 日本代表（卓球）

2009年から2025年東京大会までの5大会連続出場。

通算銀メダル4個、銅メダル5個

開閉会式の実施報告について

～東京2025デフリンピック開催レポート～ ⑧



●選手・競技役員宣誓

正々堂々とプレーすることを選手、競技役員の代表が宣誓

フェアプレー精神に則ったプレーを尊重することを選手、競技役員が宣誓しました。

選手の代表は、日本の陸上男子代表山田選手と、女子テコンドー代表の星野選手

国際手話での宣誓を息を合わせておこないました。

選手・競技役員宣誓

選手宣誓 |

山田 真樹

・デフリンピック日本代表（陸上）

2017年から2025年東京大会までの3大会連続出場。通算は金メダル3個、銀メダル2個

星野 萌

・デフリンピック日本代表（テコンドー）

2025年東京大会にてデフリンピック初出場で銅メダル

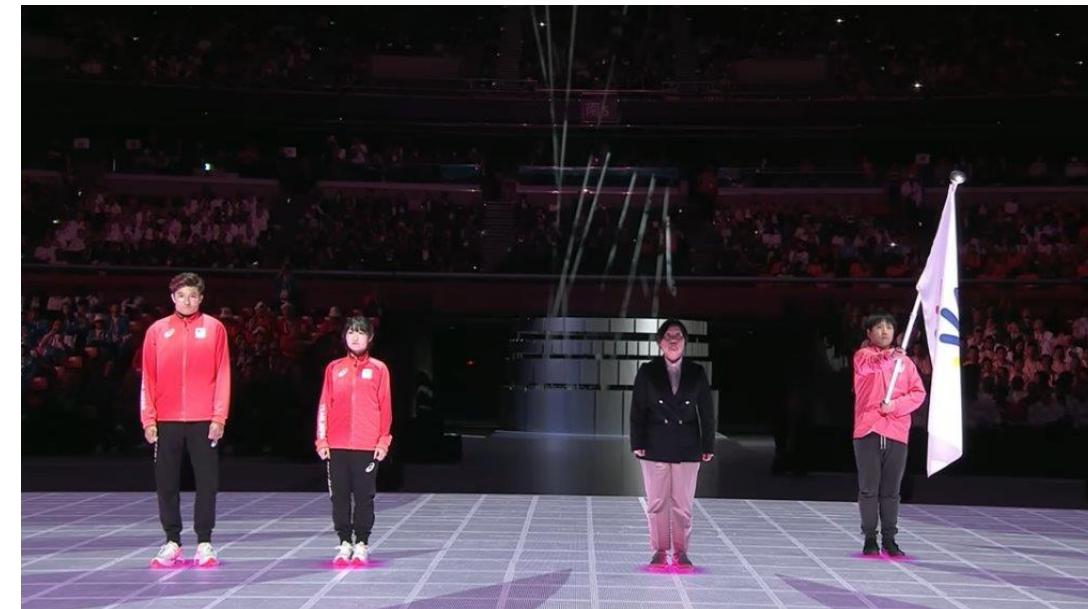
役員宣誓 |

金子 真美

・東京2025デフリンピック水泳競技運営 デフ代表

・一般社団法人日本デフ水泳協会 理事

・日本ろう者水泳協会 理事長（2008年～2012年）

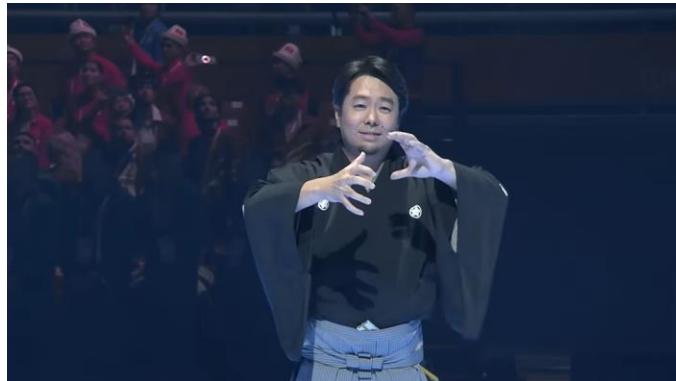


開閉会式の実施報告について

～東京2025デフリンピック開催レポート～ ⑨



●国旗掲揚／国歌

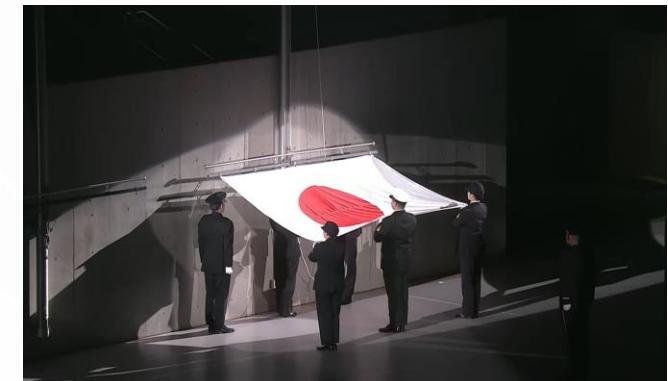


想いをひとつに、厳かに表現

開催国的心を表現する国旗掲揚、国歌

厳かな雰囲気で国歌が流れる中、自衛隊によって国旗が掲揚されました。

国歌が終わると、江副悟史氏、一青窈氏に会場全体から大きな拍手が贈られました。



出演者

国歌

日本手話言語 | 江副 悟史（日本ろう者劇団 代表）

歌手 | 一青窈

国旗掲揚

フラッグベアラー | 明晴学園 児童・原宿交通少年団

フラッグホイスター（掲揚） | 自衛隊



開閉会式の実施報告について

～東京2025デフリンピック開催レポート～ ⑩

●アーティスティックプログラム

オーディションにより選ばれたパフォーマーと共に演じられた「100年の1日」。

開会式を締めくくるアーティスティックプログラム。6月に行われたオーディションによって選ばれたパフォーマーを中心に、きこえない人、きこえにくい人、きこえる人がおよそ5ヶ月にわたる稽古を経て一緒に作りあげた作品です。



演出家コメント



■大橋さんコメント

「1年ほど前にお話しいただき、以来、かけてきた時間、想い、すべてデフリンピックのあの舞台に置いてきました。スッキリしています。
楽しみました！これから新しい未来が始まるのではないかと思います」



■近藤さんコメント

「じっくりと時間をかけ、稽古を重ねて、皆であれこれと工夫をし、すばらしいステージができあがった。
全員のエネルギーが会場全体に届いた。すべてに感謝する！」

テーマ

100年の1日

デフリンピックは100年の歴史で、デファスリートの夢を育み、国を越えて繋がりを築きました。この節目は過去を称え、未来へ希望を繋ぎます。

タイトル「100年の1日」は、この瞬間を凝縮し、象徴として伝えます。



開閉会式の実施報告について

～東京2025デフリンピック開催レポート～ ⑪

出演者

本アーティスティックプログラムは、オーディションで選ばれた出演者の方々とともにつくりあげました。
総勢437名の方からご応募をいただき、選考の結果129名の方々にご参加いただきました。

■オーディション・稽古

応募区分

(1) ステージパフォーマー

ステージ上で中心となって身体表現を行い、会場全体を盛り上げる。

(2) 客席パフォーマー

客席の中でステージの変化に合わせた動きを行うとともにステージパフォーマーの身体表現に
合わせた動きを行い、客席の一体感を醸成する。

合格者数

(1) ステージパフォーマー

きこえない、きこえにくい人：子ども 17名、高校生以上 24名

きこえる人：子ども・高校生以上 9名

(2) 客席パフォーマー

きこえない、きこえにくい、きこえる人：79名

合計129名



スケジュール

2025年5月

募集

2025年6月

一次審査（書類）・二次審査（対面）

2025年6月

結果通知

2025年8月-11月

稽古

2025年11月 リハーサル・本番



開閉会式の実施報告について

～東京2025デフリンピック開催レポート～ ⑫



開会式（サテライト会場：福島Jヴィレッジ）

サテライト会場である福島Jヴィレッジでは、式典前に福島県独自のステージイベントとして、靈山太鼓、フラダンスなどのパフォーマンスを行ったのち、開会式の中継を行いました。

また、福島県産食材を使用したすいとんをふるまうなど、サッカー競技に参加した選手団を中心に盛り上がりを見せました。



開閉会式の実施報告について

～東京2025デフリンピック開催レポート～ ⑬



閉会式レポート

式典前プログラム

式典前にはヘブンアーティストによるパフォーマンスが行われ、続々と会場に集まる各国の選手、観客のみなさんを盛り上げました。

出演者

AYUMI (フープ、スタイルト)

しおじゅり (一輪車サーカス)

Cartoon Clown CHEEKY! (一輪車サーカス) Juggler

Laby (ジャグリング)

めりこ (ポールアクロバットダンス)

「ヘブンアーティスト」は、東京都が実施する審査に合格し、都立公園や民間施設などの活動場所でパフォーマンスを行うライセンスを交付されたアーティストです。





開閉会式の実施報告について

～東京2025デフリンピック開催レポート～

14



東京体育館

●オープニング

サインマイムや手話狂言・手話歌舞伎で、ろう者の文化の可能性を魅せる！

閉会式はサインマイム、手話狂言・手話歌舞伎で幕開け。

ろう者の文化が持つ豊かな表現力を活かした動きで、すべての選手の活躍を称えました。

「やがて参加選手団の旗が参ります。拍手をもって盛大に迎えていただきたく存じ候。」
の台詞とともに連獅子が舞い、満員の東京体育館が参加選手団の代表を出迎えました。



・サインマイム

サイン（手話言語）とパントマイムの特徴を合わせてつくり出された表現方法です。

サインマイム「デファスリートの誇り」



ここにあるのは、希望。そして君の眼差し。
社会は変わる。世界は変わられる。
それを教えてくれたのは、デフの先人たちだ。
競うのは、勝つためじゃない。
信じてくれた人に応えるためだ。
私たちは、この瞳で、この場所で、何度も立つ。
デファスリートの灯は、世代を超えて、心から心へ広がっていく。



出演者

■サインマイム

きこえない人

井崎 哲也

・日本ろう者劇団 顧問

きこえない人

森田 明

・学校法人明晴学園 教頭

きこえない人

大竹 杏南

■手話狂言

きこえない人

砂田 アトム

・日本ろう者劇団

きこえる人

三宅 近成

・和泉流狂言師

■手話歌舞伎

きこえない人

芳聴 宣太郎

・日本舞踊芳聴流

きこえる人

芳聴 玲州

・日本舞踊芳聴流

開閉会式の実施報告について

～東京2025デフリンピック開催レポート～ ⑯



●選手団入場

12日間の激闘をみなで称え晴れ晴れと各国の代表が入場

競技を終えた各国選手団の代表が国旗とともにに入場。

開会式と同じく、中学生や大会ボランティアがプラカーダーを務めた。

開催国として全参加国の最後に入場した日本選手（若松優津・女子バスケットボール、松元卓巳・男子サッカー・日本の旗手）には、ひとりわ大きな拍手が贈られました。



出演者

プラカーダー |

東京都立中央ろう学校 生徒 ・ 渋谷区立原宿外苑中学校 生徒
東京2025デフリンピックボランティア



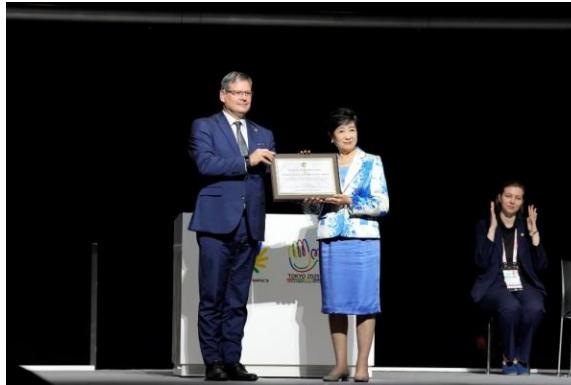
開閉会式の実施報告について

～東京2025デフリンピック開催レポート～ ⑯



●挨拶、閉会宣言／デフリンピック旗返還

東京2025デフリンピックに携わったすべての方を称え、これからの100年への想いを託す



12日間の会期を終えたデフリンピックが幕を閉じます。

アスリート、観戦客、ボランティア、手話通訳者など、本大会に携わったすべての方への感謝が伝えられました。

自衛隊により降旗されたデフリンピック旗は、これからの100年へと引き継がれていきます。



登壇者



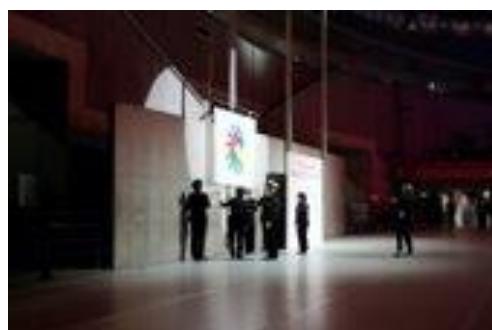
閉会宣言

国際ろう者スポーツ委員会会長
アダム・コーサ

挨拶

全日本ろうあ連盟理事長
石橋 大吾

東京都知事
小池 百合子



出演者

デフリンピック旗返還
フラッグホイスター | 自衛隊

開閉会式の実施報告について

～東京2025デフリンピック開催レポート～

⑯



●アーティスティックプログラム

ボンミライ！ 新しい形の盆踊りで会場が一体に！

選手も観客もパフォーマーも笑顔溢れ閉幕

フランス語のbon（良い）と日本文化の盆をかけた新たな「盆踊り」。

選手、観客、ボランティア、すべての人が一体となって踊った光景は、本大会が目指した「共生社会」の実現に向けて、人々の記憶に深く刻まれました。



演出家コメント



■大橋さんコメント

「閉会式を無事に終えて感無量です。さまざまな学び、気づき、発見がありました。全ての人々が尊重しあい、認め合う社会の実現にむけて、参加してくださったひとたちみんなが、この経験を活かしてくださいことを願っています。」

■近藤さんコメント

「閉会式は、皆さんにとっても我々にとっても記念すべき時間となりました。世界の人々、聞こえない、聞こえにくい人だけでなく来られた方皆さんと、「ボンミライ！」を通して共有できたことは、素晴らしい記憶となりました。これからはじまる新たな扉が開けた思いで、感慨深いです。携わっていただいたみなさんありがとうございました。」

出演者

ステージパフォーマー | 85名

客席パフォーマー | 75名





開閉会式の実施報告について

～東京2025デフリンピック開催レポート～ ⑯

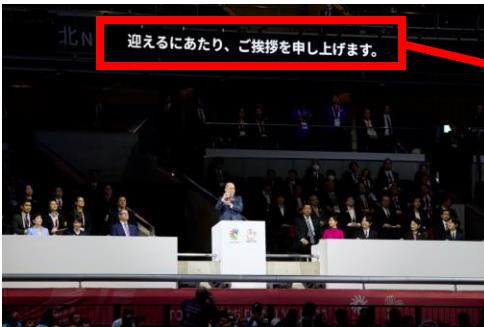


情報保障

東京2025デフリンピックでは、きこえない・きこえにくい方をはじめとしたすべての方に楽しんでいただけるよう、情報保障に取り組みました。

開会式・閉会式でも情報保障のために様々な取り組みを行いました。

●字幕



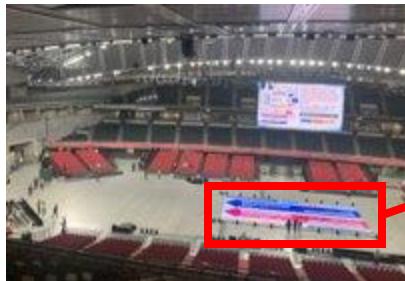
迎えるにあたり、ご挨拶を申し上げます。

床面、壁面に設置したリボンビジョンに、式典中のあいさつ、演出など、あらゆる場面において字幕を表示しました。



♪ 阿波踊りの音楽 ♪

●床面LED ビジョン



開会式で活用した床面LEDビジョンは、演出に用いただけでなく、式典後の選手誘導にも使用しました。

退場に関する情報を視覚的にも表現し、開会式の安全な運営に寄与しました。

●映像制作



国際手話、日本手話言語を中心に情報を届けるため、話者によって必要なワイプを入れた映像を制作し、大会公式YouTubeチャンネルや、会場内で放映をしました。

監修

UDコーディネーター | 廣川麻子

開閉会式の実施報告について

～東京2025デフリンピック開催レポート～

(19)



●アーティスティックプログラム 制作スタッフ、出演者

構成・演出・出演：大橋弘枝 近藤良平

振付：近藤良平

美術：楠川浩之

照明：坂本明浩

音響：原嶋紘平

音楽：大島賢治 武徹太郎 奥村茂之

LEDパネル映像：山田健介 高野善政 西出光豊

映像：オクダサトシ

衣裳：國時 誠

構成・演出補佐：勝山康晴

演出補佐・制作・出演：古賀 剛

手話通訳コーディネーター：村山春佳

アクセスコーディネーター：ちゃばがいん あやね

舞台監督：筒井昭善

振付・演出助手・出演：石渕聰 香取直登 鎌倉道彦 黒須育海 橋爪利博 藤田善宏

安田有吾 山本光二郎 池田義太郎 奥村泰人

演出助手・制作・出演：Sasa-Marie

太鼓演奏（閉会式）：和太鼓一派 志士丸（峰岸 哲、長谷川暢）

制作：根本晴美 馬場順子

出演：アーティスティックプログラムに出演された方々





議題 3



情報公開について

本部会は、「東京2025デフリンピック開閉会式検討部会設置要綱」第10条（議事録）により、後日公開と規定されています。

当該条項に基づき、過去の議事録をホームページに掲載いたします。

* 参考

（議事録）

第 10 条 議事録は本部会及び演出委員会の終了後に作成し、後日公開とする。ただし、大会に関する情報及び関係者等の秘密情報を取り扱うとき、又は部会長が公開を不適当と認めるときは、この限りではない。